

メラメラ 情熱メラーキ



No. 36 作成者 1-1 浅井 藤田
令和5年11月20日発行

国際科学オリンピック2023

7月16日～25日に開催されたこの大会は「国際科学オリンピック」の一分野で化学の他には数学、生物学、物理、情報、地学、地理の6分野があります。

この大会に出られるのは各国最大4名の中学3年生から高校2年生の生徒代表だけで金メダルは全体の上位1割、銀は続く2割、銅は続く3割となっています。今年の大会では世界89か国から348名が参加しましたが日本は金メダル2枚銀メダル2枚と生徒代表の全員がメダルを獲得しました。このように日本の生徒代表の全員がメダルを獲得するのは今年で20年連続になりました。

化学グランプリ

化学グランプリは国際科学オリンピックの日本代表の選考会で毎年7～8月に1次試験と2次試験が行われています。今年度、多摩高校からは8名が参加しました。参加した方々は「分からなかった」や「問題量が多い」といった感想を言っていました。来年挑戦する方々へは「解ける問題を確実に解くことが重要」だそうです。（なお、1名は全国80名程度が選ばれる2次選考に進出しました！）



7月20日(木)理化学研究所の方の講演会

視聴覚室で、理化学研究所の方にお越しいただき講演会が行われました。主に、酵母菌の話がされ、身近な細菌である酵母菌のいろんな話に生徒達は耳を傾け、熱心に話を聞いていました。

また、一年生は以前Meraki Iにて、バナナに存在している酵母菌の実験・研究を行いました。そのため、そこで学んだことと照らし合わせながらまた新たな学びを得ていました。

講演会を通して生徒達の感想

講演会后生徒たちは感想や、得た学びを記入しました。「未だ酵母の中の1%しか解明されていないというのが驚きました。実験中は特に思わなかったけど、あの酵母の中に多大な可能性が秘められていたと思うと感慨深かったです。」「酵母と聞くとパンというイメージしか頭に浮かばず、酵母は一種類しかないと思っていたので酵母に種類があることに驚いた。」など、酵母菌の可能性に感動する声や、新たに得た学びがありました。また、「勉強をすることは人類の財産であるということを知り、勉強や研究活動をすることの大切さを知ることができました。これからのMerakiの活動に生かせたらいいと思った。」とこれからの学校生活やMeraki活動に意気込んでいる生徒もいました。今後のMerakiの活動、生徒達の成長に期待したいです。



↑講演会の様子